

JR KYUSHU IR DAY 2021
第一部 当社グループのESGの取り組み

地域を元気にするための取り組み

D & S列車等を通じた地域の元気づくり

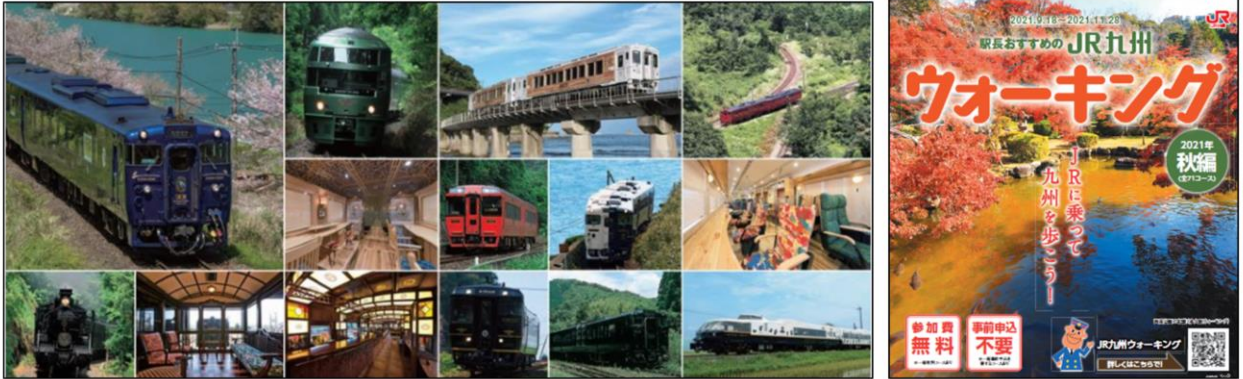
2021年12月10日
九州旅客鉄道株式会社
執行役員 鉄道事業本部営業部長
上符 友則

- 鉄道事業本部 営業部長の上符でございます。
- 私からは、「地域を元気にするための取り組み」というテーマで、D&S列車等を通じた地域の元気づくりについてお話をさせていただきます。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み

JR九州グループの役割

- ・九州の持続的な発展なくして私たちの事業は成り立ちません。「あるべき姿」の実現に向けて、「地域を元気に」することが当社グループの使命であると考えております。
- ・「地域が元気に」なるということは、地域経済が活性化され、当社グループの元気にもつながるという考えのもと、九州の持続的な発展に貢献すべく、D & S列車の運行を通じた地域のブランド価値向上や、JR九州ウォーキング等の企画を通じて地域社会と継続的に連携を図っています。



- 初めに当社グループの役割についてです。
- 九州の持続的な発展なくして私たちの事業は成り立ちません。JR九州グループ全社員が「あるべき姿」の実現に向けて、「地域を元気に」していくことが私たちの役割であり使命であると考えております。
- 「地域が元気に」なるということは、当社グループの元気にもつながるという考えのもと、九州の持続的な発展に貢献すべく、D & S列車の運行を通じた地域のブランド価値向上や、JR九州ウォーキング等の企画を通じて地域社会と継続的に連携を図っています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

D & S（デザイン&ストーリー）列車とは

・当社は、会社発足後「人と街とのふれあいをおして生き活きとした明日をひらくお客さま企業」という経営理念を掲げ、「お客さま第一」と「地域密着」の徹底に努めてきました。

その後、お客さまに選ばれる交通機関となるため、他のJRや私鉄に先がけて、価格・スピード・フリークエンシーという鉄道の基本価値に、「デザイン」という“感性的価値”を付加することで九州における鉄道の価値向上を図ってきました。さらに、この「デザイン」に「物語」という感性的価値を加えた列車づくりが、現在の当社グループの経営戦略の重要な要素となっています。

Design & Story列車

個性豊かなデザインと運行する地域に由来するストーリー

・移動手段として便利だけでなく、乗ることそのものが、忘れられないイベントになる魅力的な列車たちの運行を通じて、人と地域を結び、地域の魅力を発信し、九州全体のブランド価値の向上と九州への誘客促進を図っています。

3

- まず、D&S列車に関する取り組みについてご説明します。
- 当社は、会社発足後、「お客さま第一」と「地域密着」に努めてきました。その後も、他のJRや私鉄に先がけて、価格・スピード・フリークエンシーという鉄道の基本価値に、「デザイン」という“感性的価値”を付加することで鉄道の価値向上を図ってきました。
- さらに、この「デザイン」に「物語」という感性的価値を加えた列車づくりが、当社グループの経営戦略の重要な要素となっています。そのような考えのもと、私たちは数多くのD&S列車を運行させております。
- D&S列車とは「個性的なデザインと運行する地域に由来するストーリーを持つ列車」という意味で、魅力的なD&S列車の運行を通じて、人と地域を結び、地域の魅力を発信し、九州全体のブランド価値の向上と九州への誘客促進を図っています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

九州各地を走るD & S列車



※2021.11月末現在
※災害等により一部のD&S列車は区間を変更して運転しています。

- 現在運行しているD&S列車はご覧のとおりです。
- 11本ものD&S列車が九州各地で運行しておりますが、どの列車も個性豊かなデザインであることがお判りになるかと思ます。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

D & S列車と地域のつながり

- ・ D & S列車は、それぞれの列車が運行する線区や目的地などをもとにコンセプトを明確にし、沿線の特徴を活かした取り組みを実施してきました。
- ・ 車内販売における沿線地域の特産品の取り扱いや停車駅でのおもてなし等、地域の皆さまと一体となり、D & S列車の魅力向上に努めており、その取り組みが地域のブランド価値向上にもつながっています。



➤ D&S列車と地域とのつながりについてです。

➤ D & S列車では、それぞれの列車が運行する線区や目的地などをもとにコンセプトを明確にし、停車駅でのおもてなしや沿線地域の特産品の取り扱い等、沿線の特徴を活かした取り組みを実施することで地域のブランド価値向上にもつなげております。

※（写真では、霧島市役所の職員や地元高校生による「指宿のたまて箱」のおもてなしの様子や「海幸山幸」での地域の特徴を活かした車内販売や飫肥駅でのおもてなし、肥前浜駅でのお子さまによる「36+3」のおもてなしを紹介しています。）

➤ 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

九州を元気にするD&S列車「36ぷらす3」

・これまで多くのD & S列車を運行させてきたノウハウを活かし、2020年10月から、九州全県を巡り、九州を元気にするための新たなD & S列車「36ぷらす3」の運行を開始しました。

～コンセプト～

九州のすべてが、ぎゅーっと詰まった
“走る九州”といえる列車

九州には、美味しい食、温泉、豊かな自然、歴史、
そしてホスピタリティマインドがあふれています。

この「36ぷらす3」は、
そうした九州の魅力を詰め込んで、
九州を元気にするために走ります。

世界一大きい「感謝」の輪を描きます。

目指すは“世界一のわ”

この列車の全ルートの走行距離は、1198キロ。世界一の壮大な「わ」をつくります！^(*)
(*)一方向に円を大きく環状運転する電車として、発台列車除く、自社調べ、キロは営業キロベースで記載。



木曜日	博多→熊本→鹿児島中央 [肥薩おれんじ鉄道線経由]
金曜日	鹿児島中央→宮崎
土曜日	宮崎空港・宮崎→大分・別府
日曜日	大分・別府→(門司港)→小倉→博多
月曜日	博多→佐賀→長崎 / 長崎→佐賀→博多

- 九州を元気にするD&S列車「36ぷらす3」についてです。
- 2020年10月から、九州全県を巡り、九州を元気にするための新たなD & S列車「36ぷらす3」の運行を開始しました。
- コンセプトは、「九州のすべてが、ぎゅーっと詰まった“走る九州”といえる列車」としております。九州には様々な美味しい食、温泉、歴史、そしてホスピタリティマインドがあふれており、この「36ぷらす3」はそうした九州の魅力を詰め込んで、九州を元気にするために走っています。
- この「36ぷらす3」で取り組んでいる、地域を元気にする取り組みをご紹介します。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

<5つのルートを彩る35のエピソード>

・「36ぷらす3」では、木～月曜日までの5つのルートを“色”に例え、その“色”にまつわる7つのエピソードを車内で紹介し、お客さまの知的好奇心を刺激することで九州各地に足をのばしていただこうと考えました。



- 「36ぷらす3」は木曜から月曜日までかけて、5つのルートで九州を一周します。
- その5つのルートを“色”に例え、その“色”にまつわる7つのエピソードを車内で紹介し、お客さまの知的好奇心を刺激することで九州各地に足をのばしていただこうと考えております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

・木曜日ルート“赤の路”エピソード（福岡、熊本、鹿児島）

ひぐち農園（あまおう苺）／阿蘇神社火振り神事／阿蘇火山博物館／大洞窟の湯 湯楽亭／球磨川第一橋梁
沈壽官窯／熊本城

・金曜日ルート“黒の路”エピソード（鹿児島、宮崎）

薩摩ガラス工芸／仙巖園／黒神埋没鳥居／つるまる温泉／沖田黒豚農場／鹿児島酒造／吉永醸造店（醤油）

・土曜日ルート“緑の路”エピソード（宮崎、大分）

青島神社／西都原古墳群／由布院のまちづくり／小川／鉄輪むし湯／成合へべす園／スコール

・日曜日ルート“青の路”エピソード（大分、福岡）

宗像大社／シャボン玉せっけん／博多織／岩戸寺／太田潤手吹き硝子工房／関あじ・関さば／青の洞門

・月曜日ルート“金の路”エピソード（佐賀、長崎）

カスドース／からすみ／鼈甲細工／鍋島／長崎ランタンフェスティバル／宝当神社／大村湾の夕景

➤ 各ルートのエピソードはご覧のとおりです。

➤ 例えば、木曜日では“赤”にちなんで、イチゴのあまおうや九州の火の祭り、火の国といわれる阿蘇、赤湯等にまつわるエピソードを紹介しております。

➤ 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の特徴を活かした車内販売・お食事・体験

〔車内販売〕

- ・九州の地域性を感じていただけるよう、各県から特色あるお酒をセレクトして販売
- ・九州各地の工芸品も販売し好評



〔車内のお食事〕

- ・各ルートの出発エリアの名店と連携し、手間をかけた地産地消のお食事を提供していただいております。

〔車内体験メニュー〕

- ・マルチカーにて、九州にちなんだテーマで体験メニューを実施
→ 九州のお茶、大分の梅酒、鹿児島黒酢、北九州の金平糖



- 地域の特徴を活かした車内販売や食事、体験についてです。
- 車内販売では、九州の地域性を感じていただけるよう、九州各地のお酒や工芸品を販売し、ご好評いただいております。
- 車内でのお食事は、各ルートの出発エリアの名店と連携し、手間をかけた地産地消のお食事を提供しております。
- また、車内では九州のお茶、大分の梅酒、鹿児島黒酢、北九州の金平糖などの各ルートにちなんだテーマで体験メニューを実施しています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方との連携（おもてなし）

- ・ **実施駅** 玉名駅、牛ノ浜駅、大隅大川原駅、延岡駅、重岡駅、杵築駅、中津駅、肥前浜駅
- 全体で少なくとも15の市町と連携
- ・ **内容** 15～60分程度停車し（駅によって異なる）、毎運行時の地域の特産品の販売のほか、不定期でイベント、ふるまい等でのお出迎えを実施していただいています。



- おもてなしに関する地域の方との連携についてです。
- 「36ぷらす3」では、毎運行時の途中停車駅において、地域の方々に特産品の販売のほか、不定期でイベント、ふるまい等でのお出迎えを実施していただいております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方との連携（おもてなし）



【玉名駅】
地元の果物の加工品や、名産の「金魚」PRなど複数の自治体で連携して実施。



【牛ノ浜駅】
物販のほか地元のお年寄りのハンヤ踊りの歓迎も。オリジナルロゴ入りたい焼きが名物に。

- 主な停車駅でのおもてなしをご紹介します。
- 玉名駅（熊本県）では、複数の自治体で連携して、地元の果物の加工品や、名産の「金魚」をPRする金魚すくいなどを実施しています。
- 牛ノ浜駅（鹿児島県）では、大漁旗を持ってのお出迎えやオリジナルロゴ入りたい焼きも名物になっています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方との連携（おもてなし）



【大隅大川原駅】

大イチョウの下で、キッチンカーなどで地元の美味しいものを販売。ジビエバーガーが人気。地域の方の交流の場にもなっている。



【延岡駅】

駅の民間店舗の皆様が、選りすぐりの逸品を販売。センス良い品々が並ぶ。



【重岡駅】

秘境駅ともいわれるこの駅も、列車の到着と同時に賑わいをみせる。名産の栗のどらやき、ジャムが新名物になっている。頻りに太鼓、ふるまいのおもてなしもあり人気の駅となっている。

- 大隅大川原駅（鹿児島県）では、大きなイチョウの下にキッチンカーなど集まり、ジビエバーガーなど地元名物を販売し、地域の方の交流の場にもなっています。
- 延岡駅（宮崎県）では、駅テナントの皆さまが毎週選りすぐりの逸品を販売してくださっております。
- 秘境駅ともいわれる重岡駅は、列車の到着と同時に秘境駅とは思えないような賑わいを見せております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方との連携（おもてなし）



【中津駅】

名物から揚げなど人気の品の販売のほか、地元の方が毎回、こころ温まる歓迎をしてくれている。

【肥前浜駅】

古いまちなみが残り、ガイドの散策や名産の日本酒の利き酒イベントなどが人気。



【杵築駅】

和菓子やお酒など、城下町らしい品物の販売でお客さまを歓迎。



- 中津駅（大分県）では、名物から揚げなど人気商品の販売を中心に、地元の方々による心温まる歓迎があります。
- また、杵築駅（大分県）では、地元の方々が和菓子やお酒など、城下町らしい品物の販売を通じて、お客さまを歓迎してくださっています。
- 最後に、肥前浜駅（佐賀県）には、古いまちなみが残っており、ガイドの散策や名産の日本酒の利き酒イベントなどが人気となっております。
- このように九州各地で皆さまに実施していただくおもてなしはご乗車のお客さまにも大変好評で、「36ぷらす3」の魅力のひとつとなっております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方の受け止め（大隅大川原駅）

- ・ 最近駅周辺が寂しくなっていたところに、観光列車が停車すると聞いて、驚いた。
- ・ 毎週金曜日にお店が立ち並び、多くの人が集まっている光景が嬉しい。
- ・ 曾於市のことを知ってもらえる機会ができたことが嬉しい。
- ・ お客さまに新商品を提供することで、感想を元に、商品改良に役立てられる。
- ・ 36ぷらす3のお客さま以外に、地域の方が買い物に来てもらえるようになってきた。



地域の方の受け止め（重岡駅）

- ・ 特産品のアピールはもちろんですが、地元の団体や住民の協力により、連携強化や駅の美化など、地域を挙げておもてなしの心が広がっています。
- ・ 昔、材木の流通で賑わい、多くの利用客がいた駅に、36ぷらす3が停車してくれることで、久しぶりに賑わいが戻ってきました。
- ・ 毎週、重岡駅に集うことで、地域の皆さんの絆を感じられるようになりました。

- 地域の皆さまの受け止めについてです。
- 大隅大川原駅では、ご覧のように、「寂しくなっていた駅周辺が観光列車が運行することにより活気が出てきた」、「自分たちの地域を発信できる機会が出来て嬉しい」といった声を聴くことが出来ました。
- 次に、重岡駅では、「地元を挙げておもてなしを実施することで、地元の団体や住民の連携が強化されている。地域の絆を感じられるようになった」、「36ぷらす3が停車することで賑わいが戻ってきた」という声をいただきました。
- このように、「36ぷらす3」が走ることで、地域の方々の元気を創り出すきっかけにつながったと考えています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（D & S列車）

地域の方との連携（イベント連携）

・運行開始から39周年を記念して、【サンキュー！運行】を実施し、各おもてなし駅をはじめ、地域の皆さまと連携し、各地がイベントで盛り上がりました。



地域との新たなつながり構築

・「36ぷらす3」の嬉しい副次的な効果として、おもてなし検討の組織が立ち上がり、議論の場に参加する機会に恵まれたり、観光に関する協議会に加えていただいたりする事例がうまれました。



15

- 運行開始から39周年を記念して、【サンキュー！運行】や1周年記念などのイベントを通じ、地域とのつながりを深めています。
- イベント以外にも、普段から、地域のおもてなし検討の場に入れていただくなど、地域の皆さまとはより強く・深いつながりを持つことができました。
- 36ぷらす3をはじめとするD & S列車の魅力に磨きをかけ、九州内のお客さまはもちろん、日本全国や海外のお客さまに「九州に行ってみよう」と思ってもらえるよう、常に成長を続けてまいります。
- 次のページをご覧ください。

新たなD & S列車の運行

～西九州エリアの魅力を感じる新たなD & S列車～

「ふたつ星4047」

（ふたつぼし よんまるよんなな）

2022年 秋 運行開始！

2022年秋 西九州新幹線の開業にあわせて、新しいD & S列車がデビューします。コンセプトは「西九州の海めぐり列車」。日本一の干満差を誇る有明海、波静かで琴の海（ことのみ）とも称される大村湾など、景色の異なる西九州の海を巡り、その日その時だけの旅を楽しんでいただきます。

- 新たなD&S列車の運行についてです。
- JR九州では、2022年秋 西九州新幹線の開業にあわせて、新しいD & S列車「ふたつ星4047」がデビューします。
- 日本一の干満差を誇る有明海、波静かで琴の海（ことのみ）とも称される大村湾など海に囲まれた西九州エリアの旅を楽しんでいただきます。
- 次のページをご覧ください。

コンセプト

「西九州の海めぐり列車」

この列車に乗って、沿線に広がる有明海や大村湾の変化に富んだ「海」の“車窓”と「海」がもたらした“地域のおいしいもの”を楽しんでいただきます。また、西九州新幹線と組み合わせてご利用いただくことで、“自分だけの自由な旅”を創り上げることができ、その日、その時だけの楽しさが無限大に広がる旅をご提案します。

運行ルート

“ふたつ”の運行ルートで西九州エリアを1周します。

【午前発】 武雄温泉 → 長崎 (長崎本線経由)

【午後発】 長崎 → 武雄温泉 (大村線経由)

内陸の「山」を走る西九州新幹線に対して、新D & S列車は、「海」に面したルートを走行します。目的地にあわせてルートをお選びいただくことができ、車窓からは季節や時間によって変化する、ふたつの「海」の表情をお楽しみください。



- 「ふたつ星4047」のコンセプトは「西九州の海めぐり列車」としており、沿線に広がる有明海や大村湾の変化に富んだ「海」の“車窓”と「海」がもたらした“地域のおいしいもの”を楽しんでいただきます。
- また、西九州新幹線と組み合わせてご利用いただくことで、“自分だけの自由な旅”を創り上げることができ、その日、その時だけの楽しさが無限大に広がる旅をご提案します。
- 運行ルートについては、武雄温泉から長崎の区間を、青色で表記した長崎本線と、赤色で表記した大村線を通る、2つのルートで西九州を1周できるよう設定しました。
- 次のページをご覧ください。

D & S (デザイン&ストーリー) 列車 「ふたつ星4047」

車両デザイン



・「ふたつ星4047」もこれまでのD & S列車と同じく、地域の皆さまと協力し、沿線の魅力を発信することで、「西九州」という地域ブランドの向上に貢献できるよう取り組んでまいります。

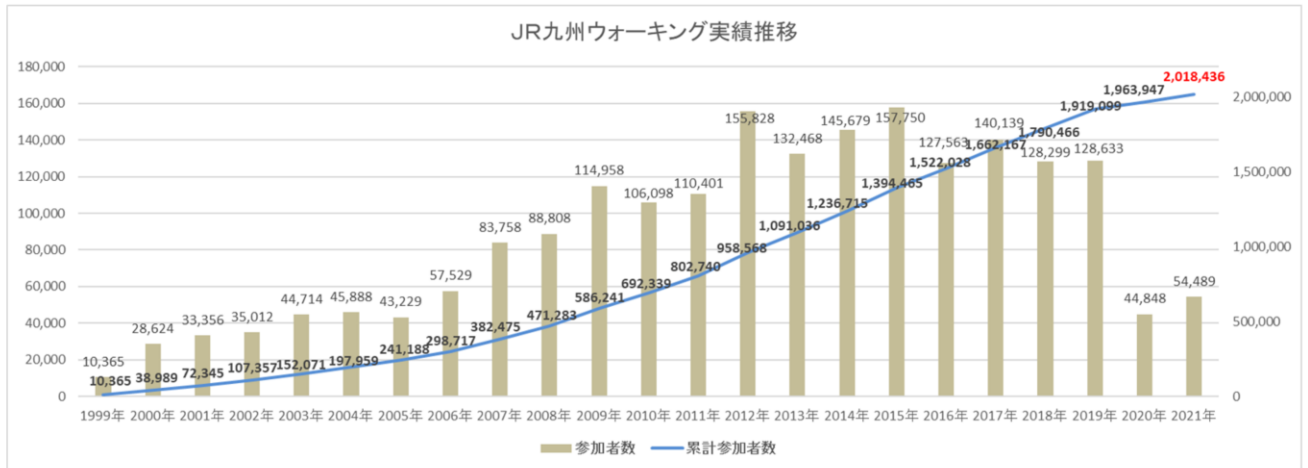
18

- 外観デザインはこのようになっております。
- 「西九州の海めぐり列車」として、有明海・大村湾の水面に映える“パールメタリック”を基調としたデザインとなりました。車体の随所にあしらった金色のロゴとラインが、西九州の美しい自然に映えるようデザインされています。
- また、3両編成の2号車には「ふたつ星4047」の旅をゆったりと楽しんでいただけるよう、「ビューフェ・ラウンジ車」を設けます。この車両には販売カウンターを設け、沿線の特産物などの販売を予定しています。
- この「ふたつ星4047」も「36ぷらす3」やこれまでのD & S列車と同じく、地域の皆さまと協力し、沿線の魅力を発信することで、「西九州」という地域ブランドの向上に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（JR九州ウォーキング）

JR九州ウォーキングについて

- ・地域活性化と健康志向の高まりをとらえ、九州各地の魅力を“歩く”ことで再発見していただこうと、1999年5月にスタートしました。2021年11月には累計参加者200万人を達成し、開始から20年を超えてもなお多くのお客さまが参加される、当社グループの代表的な商品になっています。
- ・現在は、1年間を「春」「秋」の2シーズンに分け、開催する地域の自然、名所、食、お祭りなどをテーマに各駅でコース設定しています。



- JR九州ウォーキングについてです。
- JR九州ウォーキングとは、自然、名所、食、お祭りなどをテーマに、九州各地の魅力を“歩く”ことで再発見していただこうと、1999年5月にスタートしました。
- 2021年11月には累計参加者200万人を達成し、開始から20年を超えてもなお多くのお客さまが参加される、当社グループの代表的な商品の一つとなっています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み（JR九州ウォーキング）

JR九州ウォーキングについて

- ・人気の最大の要因は地域とのタイアップであると考えています。各駅が地元の商店街や観光協会などと連携をとり、その地域の特色や魅力を発信できるコースをつくっています。また、ウォーキング当日は、地域から特産品の提供やボランティアガイドの派遣、イベントの実施など、地域の皆さまと一緒に盛り上げを図っています。
- ・こうした地域との継続した良好なコミュニケーションがあるからこそ、長くご好評いただけている商品として成長することができ、JR九州グループのファンづくりにもつながっています。

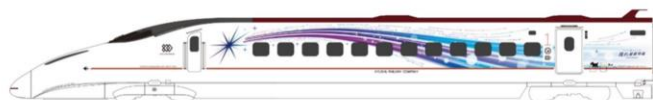


- JR九州ウォーキングの人気の最大の要因は地域とのタイアップであると考えています。
- 各駅が地元の関係者の方々と連携し、ウォーキングにあわせたイベントの実施や特産品の提供などを計画し、地域の魅力を発信できるオリジナルコースを作っています。
- こうした地域との継続した良好なコミュニケーションがあるからこそ、長くご好評いただけている商品として成長することができ、JR九州グループのファンづくりにもつながっています。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み

九州、そして日本を元気にする…

- ・九州新幹線全線開業時に制作した、「祝・九州 九州縦断ウェーブ」は新幹線沿線で多くの皆さまにご参加いただき、大きな話題となり、九州のみならず日本中に元気を届けることが出来ました。
- ・そして、今年3月には九州新幹線全線開業10周年を記念して、再び新幹線を活用して、一夜限りの「流れ星新幹線」を特別運行しました。



▶ 流れ星新幹線スペシャルムービー

<https://youtu.be/2002jGlh7yU>



21

- 九州を元気にする取り組みについてです。
- 九州新幹線全線開業時に制作した、「祝・九州 九州縦断ウェーブ」は新幹線沿線で多くの皆さまにご参加いただき、九州のみならず日本中に元気を届けることが出来ました。
- 今年3月には九州新幹線全線開業10周年を記念して、再び九州新幹線を活用して、一夜限りの「流れ星新幹線」を特別運行しました。
- このような企画は、当社グループの強みである、鉄道を活かした「地域を元気に」する取り組みであり、九州という地域を広く発信するものとなりました。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み

九州を元気に

しかし、明るい話題ばかりではありません。地震や激甚化する自然災害などにより、何度も鉄道ネットワークが分断されてきました。そのような厳しい状況に立った時、私たちは地域の方からの励ましや応援で元気をいただき、また九州を元気にする取り組みを進めることが出来ました。

地域の皆さまと一緒に、復旧・再開に向かっていくことに、日頃からの地域との連携の大切さを実感しております。



- 明るい話題がある一方で、私たちが事業を営む九州では地震や激甚化する自然災害などにより、何度も鉄道ネットワークが分断されてきました。
- そのような厳しい状況に立った時、私たちは地域の方からの励ましや応援で元気をいただき、再び「九州を元気に」する取り組みを進めることが出来ました。
- 地域の皆さまと一緒に、復旧・再開に向かっていくことに、日頃からの地域との連携の大切さを実感しております。
- 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み

その日まで、ともにがんばろう（2020年4月）

- ・九州だけでなく、日本中が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で元気を失っていた時期に、一日でも早く、安全安心な日常生活を取り戻し、みんなで笑い合える「その日」まで、九州の元気を発信し続けるため、世代、職業を超えて、九州各地から集めた、「ともにがんばろう」という念（おも）いを動画にしました。
- ・この動画は、これまでに約59万回再生されており、多くの方に念いを伝えることができました。



▶ 「その日まで、ともにがんばろう」
<https://youtu.be/x8rBv4hSHGk>



- ▶ 「その日まで、ともにがんばろう」プロジェクトについてです。
- ▶ このプロジェクトは、昨年4月、九州だけでなく、日本中が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で元気を失っていた時期に、一日でも早く、安全安心な日常生活を取り戻し、みんなで笑い合える「その日」まで、九州の元気を発信し続けるため、世代、職業を超えて、九州各地から集めた、「ともにがんばろう」という念（おも）いを動画にして発信し、これまでに約59万回再生されております。
- ▶ 次のページをご覧ください。

地域を元気にするための取り組み

さあ！九州を元気に。（2021年7月始動）

- ・ 新型コロナウイルス収束に向けた兆しが見え始めた時期、いまだからこそ、飲食・観光・宿泊業をはじめ、コロナ禍を闘っている各種店舗や団体の皆さまと一体となって、地域を盛り上げ、九州の元気を発信したい。そんな念（おも）いを込めて、「さあ！九州を元気に。」プロジェクトを始動しました。
- ・ このプロジェクトでは、駅周辺の店舗・団体等の皆さまに弊社から800を超える店舗・団体にお声掛けさせていただいてポスターを制作しました。また、プロジェクトにご協力いただいた皆さまの姿をより広く発信するため、「さあ！九州を元気に。」プロジェクト動画を制作しました。



▶ 「さあ！九州を元気に。」

<https://youtu.be/3r5EwJ1m1Z4>



- 今年7月からは、「さあ！九州を元気に。」を新たにスタートさせました。
- 新型コロナウイルス収束に向けた兆しが見え始めた時期に、コロナ禍を闘っている各種店舗や団体の皆さまと再び協力して、地域を盛り上げ、九州の元気を発信したいとの念（おも）いを込めて始動しました。
- 800を超える店舗・団体にお声掛けさせていただきポスターを制作しました。また、ご協力いただいた皆さまの姿をより広く発信するため、動画を制作しました。
- このように、私たちは地域の皆さまと一体となって様々な取り組み実施し、地域を元気にしてきました。これからも、九州の元気をつくる企業グループであるという強い思いを持って、様々な施策に取り組んでまいりたいと思います。
- 以上で説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。